



季節を知ったら 暮らしが楽しくなった

（第四五七号）

冬至 とうじ 十二月二十二日

火の用心

赤福の十二月の朔日餅は雪餅。こしあんをもちし粉入りの餅生地で包んだ雪餅を食べると、しみじみと年の暮れを感じるのです。そこに、「火の用心」のお札が入っていることも大きいかもしれません。

全国にはさまざまな火の用心のお札がありますが、私は、この朱筆で大きく「火の用心」と書かれた朔日餅のお札になじみがあります。その心の字の上に描かれた男性の肖像画は、歌人の柿本人麻呂です。なぜこの歌人が描かれるのでしょうか。それは「人麻呂」と「火止まる」をひっかけたものだからです。人麻呂の肖像画のそばには、「火気かきの元火もとひ止まる像」と書かれています。遊び心を感じるお札なのです。

柿本人麻呂は、生没年はわかっていませんが、飛鳥時代、持統天皇じとうの代に宮廷歌人として活躍し、山部赤人やまべのあかひととともに「歌聖かせい」と称されました。万葉集にも多くの和歌が残っています。百人一首のこの歌でも知られます。

あしびきの 山鳥の尾の しだり尾の ながながし夜を ひとりかも寝む

（山鳥の長く垂れ下がっている尾のように、私は長い長い秋の夜をたった一人で眠ることになるのだろうか）。

謎の多い人物だからでしょうか、和歌の名人ゆえに、歌の神とされるのは理解できるのですが、防火の神、安産の神などとしても信仰されているのです。そのため、「火の用心」のお札にも登場するのです。

冬は乾燥しやすく、また風も強くなります。近頃は大火事のニュースもよく聞きます。年末の大掃除のあと、新しい「火の用心」のお札を台所に貼り替えるのが我が家の習慣です。人麻呂のお札に守ってもらいながら、火の始末を心がけたいものです。良いお年をお迎え下さい。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

お正月は家に歳神様を迎えお祝いする行事です。歳神とは1年の始まりにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様です。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から喜んで迎えるための準備です。

おかげ横丁では、お正月用品が並べられ、日本人にとって1年の締めくくりと新年のことはじめとして大切にされている催し「歳の市」を開催しています。

日 時／12月28日(日)まで 10:00 ～ 17:00

場 所／おかげ横丁一帯

※諸事情により内容が一部変更になる場合がございます。

● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄やミニ門松などのお飾りが並びます。

日 時／12月28日(日)まで 10:00 ～ 17:00

場 所／孫の屋三太前特設会場

● ミニ門松作り

玄関や机の上に置ける卓上サイズの門松を作ります。

門松は歳神様に迷わずに家へ来ていただくための目印です。心を込めて手作りした門松で歳神様をお迎えいたしましょう。

日 時／12月28日(日)まで 10:00 ～ 16:00

場 所／伊勢路栽苑

お問い合わせ／おかげ横丁 総合案内「おみやげや」 電話 0596-23-8838

五十鈴塾

○ 「ヒカゲノカズラを学ぶ」～文化史と正月飾りの製作～

ヒカゲノカズラは、山野に自生するツタ状の多年草です。神話や古典文学にも登場するほか、大嘗祭などの宮中祭祀でも利用され、神道に関わりが深い植物です。正月飾りの縁起物である蓬萊山に昇る龍を象った「掛蓬萊」の材料にもなっており、講座では、ヒカゲノカズラに関わる文化史を学び、後半ではヒカゲノカズラを使い「掛蓬萊」をつくります。正月を迎えるこの時期、「掛蓬萊」を作り、清々しい新年を迎えてみては如何でしょうか。

日 時／12月22日(月) 13:30 ～ 15:30

講 師／新田 恵三（皇學館大学文学部神道学科 助教）

参加費／一般 4,500円 会員 4,000円(材料費含む)

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

わび
侘

すけ
助

冬の庭に静かに咲く侘助の花。古くから茶花としても広く用いられています。求肥に白餡とメレンゲを加えた生地で、粒餡を包みました。炉の季節の風情を感じさせるひと品です。

しん えん まつ

神 苑 の 松

五十鈴川沿いの木々もすっかり葉を落とし、神宮神苑に目を移せば、松の緑が新鮮です。粒餡を山芋きんとんで包み、松ぼっくりと雪化粧した神苑の松を表現しました。

とし こし まん じゅう

年 越 饅 頭

今年も無事に年が越せ新年を迎えられます様、感謝と願いを込めていたく年越蕎麦。私共では山芋に蕎麦粉をまぜた生地でこし餡を包んだ薯蕷(じょうよ)饅頭を作ります。少し温めて蕎麦の香りをお楽しみください。